

災害時は危険な場所から全員避難

避難場所への立退き避難

市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。

災害時には市町村のホームページ等を確認してください。

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。

事前に予約・確認し

ましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



自らの命は
自ら守る

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ② 浸水深よりも居室は高い
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

警戒
レベル
4

危険な場所にいる人は

「避難指示」で必ず全員避難！

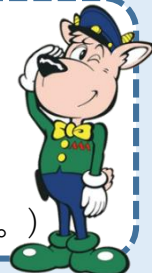
警戒レベル	新たな避難情報等	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～		
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報（気象庁）	災害への心構えを高める

参考：内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定（令和3年度）」

「災害情報投稿サイト」 ※警察庁ウェブサイト

警察庁では、大規模な災害が発生した場合に、道路の損壊や土砂崩れ、建物の倒壊等の被害状況等を知るため、写真や動画での情報提供をお願いしています。

※ 投稿方法や写真のサンプルは、警察庁ウェブサイト「災害情報投稿サイト」に掲載されておりますので、ご確認ください。（平時は投稿を受け付けておりません。）



山形県警察

かモンくん

Let's Try ! 避難行動を確認してみましょう

気象・避難情報

警戒レベル1

早期注意情報

(気象台)

～今後気象状況悪化のおそれ～

早期注意情報
(警報級の可能性)

警戒レベル2

大雨・洪水・大潮

注意報

(気象台)

～気象状況悪化～

大雨注意報
洪水注意報

大雨警報に
切り替える
可能性が高い
注意報

警戒レベル3 高齢者等避難

～災害のおそれあり～

大雨警報
洪水警報

警戒レベル4 避難指示

～災害のおそれ高い～

土砂災害警戒情報

警戒レベル5 緊急安全確保

～災害発生又は切迫～

大雨特別警報

私の避難行動

●ハザードマップの確認

・浸水深 ☐ ～0.3m ☐ ～0.5m ☐ 0.5～1m ☐ 0.5～3m
☐ 3～5m ☐ 5～10m ☐ 10～20m ☐ 20m～

・☐ 土砂災害危険区域 ☐ 土砂災害警戒特別区域

●避難のタイミング

☐ 警戒レベル3 ☐ 警戒レベル4

☐ その他 _____ 例：自宅近くの側溝が溢れたら

●避難先 ※市町村のホームページ等を確認しましょう

・指定避難場所（浸水） _____ 例：〇〇公民館

・指定避難場所（土砂） _____ 例：〇〇小学校

・その他 _____ 例：〇〇さんの家

●安全に避難できるルートを確認

●避難時の持ち物の確認

☐ 食糧 ☐ 飲料 ☐ 薬 ☐ 保険証
☐ 懐中電灯 ☐ 感染症対策グッズ 等



○ 気象情報に関心を持つ

○ 市町村から発令される避難情報等を入手する

○ 高齢の方や障がいのある方、その支援者等の避難に時間を要する方は避難を開始しましょう。

氾濫した水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたがあいているマンホールの穴は見えません。
やむを得ず水の中を移動するときは、棒等で足下を確認しながら移動しましょう。



○ 危険な場所にいる人は必ず避難を開始しましょう。



豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認しましょう。



○ 命が危険な状況ですので直ちに身の安全を確保しましょう。

予定していた避難場所への避難が危険な場合には、自宅の上の階や崖から離れた部屋に移動するなど、その場でとることができる少しでも身の安全を確保するための行動をとるようにしましょう。



やまがた110ネットワーク
警察からの安全安心情報をメールで受信しよう！



※ 配信希望の方は、このQRコードから空メールを送信し、返信されたメールの案内に沿ってご登録ください。登録は無料です。